

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公表番号】特表 2019-520263 (P2019-520263A)
 【公表日】令和 1 年 7 月 18 日 (2019.7.18)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-028
 【出願番号】特願 2018-567244 (P2018-567244)
 【国際特許分類】

B 6 3 B 21/04 (2006.01)

【F I】

B 6 3 B 21/04 B

【誤訳訂正書】
 【提出日】令和 3 年 5 月 11 日 (2021.5.11)
 【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 0 5
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0 0 0 5】

したがって、バンドがドラムに真っ直ぐに巻き取られることを確実にするために、バンドがドラム上で適切な角度で正確に回転することを確実にする追加のガイドプリー装置が配置されることが好ましい。バンドガイドを用いた場合と、それを用いない場合の係留装置の図が図 9 a および図 9 b に示されており、これらの図に関連して説明する。

【誤訳訂正 2】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 1 1
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0 0 1 1】

ウインチがバンドを引き込んでいる際、バンドがガイドプリーに真っ直ぐに巻き取られるためには、ガイドプリーがバンドの下方部分と整列されることが重要である。

【誤訳訂正 3】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 5 7
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0 0 5 7】

バンド 5 が巻き上げられるときにバンド 5 がガイドプリー 1 4 に真っ直ぐに巻き取られるためには、ガイドプリー 1 4 が、ガイドプリー 1 4 の下に配置されるバンド 5 の下方部分 5 b と整列されることが重要である。筐体 1 8 は、浮体装置が受けるローリング運動 / ピッチング運動または水平方向の移動を補償するために回転する。この原理は、図 9 ~ 図 11 に示される。

【誤訳訂正 4】
 【訂正対象書類名】特許請求の範囲
 【訂正対象項目名】全文
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

浮体装置（１、１２、１２'）上に配置されたドラム（３）に一端が接続されるように構成されたバンド（５）を備え、前記ドラム（３）が、浮体装置（１、１２、１２'）が海流、風または波による運動を受けたときに前記バンド（５）を出し入れするように構成されており、前記バンド（５）が、他端においてアンカー装置（１３）に結合されるように構成された、浮体装置（１、１２、１２'）用の係留装置（２、２'）において、

当該係留装置（２、２'）が、バンドガイド（１５、２２）をさらに備え、

前記バンド（５）が、バンドガイド（１５、２２）を介して前記ドラム（３）から前記アンカー装置（１３）に向かって延びており、

前記バンドガイド（１５、２２）が、前記浮体装置（１、１２、１２'）上に配置されたベース部分（１９、２１、３３）に枢動可能に結合されており、

前記バンドガイド（１５、２２）が、前記バンドガイド（１５、２２）の長手方向に直列に配置された第１および第２のプーリー（１６、１７）を備え、

前記第１および第２のプーリー（１６、１７）が、前記バンド（５）を受けるように構成された対応のウインチ部分（１４'、１６、１７'）と、前記ウインチ部分（１４'、１６、１７'）の両側に配置されたフランジ（４０）とを有し、

前記バンド（５）が前記ドラム（３）に真っ直ぐに巻き取られることで、前記浮体装置（１、１２、１２'）の動きによって生じる前記バンド（５）の摩耗を最小限にすることを確実にするために、前記バンドガイド（１５、２２）が、前記第１のプーリー（１６）に対する接線である関節的運動軸線であって、前記ドラム（３）と前記バンドガイド（１５、２２）との間に位置する前記バンドの部分（５a）の長手方向軸線（Ｂ）を通して延びる関節的運動軸線を中心に枢動するように構成されていることを特徴とする、係留装置（２、２'）。

【請求項 2】

前記ベース部分（１９、２１、２３）が、前記バンドガイド（１５、２２）を両側で支持するように構成された２つの脚部（３３a、３３b）を有するフレーム（３３）である、請求項 1 に記載の係留装置（２、２'）。

【請求項 3】

前記第１のプーリー（１７）と、前記第２のプーリー（１６）とが、同一の筐体構造（１８、２０）内に配置されている、請求項 2 に記載の係留装置（２、２'）。

【請求項 4】

当該係留装置（２、２'）が、前記フランジ（４０）と、前記バンド（５）の側面との間の横方向の力を計測するためのセンサ又はロードセル装置を有する、請求項 1～3 のいずれか一項に記載の係留装置（２、２'）。

【請求項 5】

前記ウインチ部分（１４'、１６'、１７'）の上方の前記フランジ（４０）の径方向における高さが、少なくとも前記バンド（５）の厚さである、請求項 1～4 のいずれか一項に記載の係留装置（２、２'）。

【請求項 6】

当該係留装置（２、２'）が、当該係留装置（２、２'）を前記アンカー装置（１３）に結合するバンド端部取り付け具（９）をさらに備える、請求項 1～5 のいずれか一項に記載の係留装置（２、２'）。

【請求項 7】

前記バンド端部取り付け具（９）が、前記バンド（５）の長手方向の両側に配置された湾曲抑制器（２３）を有する、請求項 6 に記載の係留装置（２、２'）。

【請求項 8】

前記バンド端部取り付け具が、フロート（２４、２７）を備える、請求項 6 または 7 に記載の係留装置（２、２'）。

【請求項 9】

当該係留装置が、前記バンド端部取り付け具（９）と前記アンカー装置（１３）との間

に配置されたロードセル（２８）を備える、請求項６～８のいずれか一項に記載の係留装置（２、２'）。

【請求項１０】

請求項１～９のいずれか一項に記載の少なくとも１つの係留装置（２、２'）を備えることを特徴とする波力エネルギー変換器である浮体装置。